

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 30 日 (17 : 25 ~ 18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 豊田・坂岡・芦林・三好

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	2人	9人

前回の改善計画

・アセスメント様式を変更していく、その中で、介護現場が必要な情報を整理し可能な範囲で確認できるようにする。特に本人や家族の思いについて、一致している事もあるが不一致な事もあるので、うまく聞き出せるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

必要に応じて修正していった。可能な限り事前に情報を書面にて回覧を行ったり、ミーティングで説明するも、全体像が把握しにくいこともある。また、すべての情報が得られるわけではないので、実践の中で、その都度、日々のミーティングの中で対応を協議した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	1		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	2		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5	3		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	4	4		9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ケアマネジャーによるアセスメント (情報収集) や質問等で情報を得て、利用者への声掛けを意識している。アセスメントシートを細かくすることで事前に可能な限り把握できるようにしている。準備リストを整え、受け入れ態勢も整っている。送迎等家族と関わる機会に困り事など情報を交換、共有できている。利用開始前に新規の方の情報を伝えアセスメントシート (情報収集シート) が閲覧できている。笑顔で利用者に話しかけ援助できている。利用者家族への配慮や気遣いは出来ている。初期の頃は特に関わり方に気を使い不安を取り除くようにしている。初期の頃の間にご利用者を受けとめている。面接を二人で実施した。初期の頃は丁寧な声掛けや配慮が出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の希望がどの程度なのか把握できない。家族が必要とするサービスに偏っている場合がある。ミーティングに参加できない職員に口頭で伝えられていない。得られた情報と違う場合があることや、情報が遅くなっている事がある。本人の目標に家族が向き合っておらず、実践に繋がらない。声掛けや説明が不十分であることがある。本人家族にコミュニケーションを図るようにしているが不足がちである。ミーティングに参加できない事もある。その人を知るとい事は面接でできなかった。複数の訴えがあった時に一方を忘れてしまう事がある

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

利用開始後の情報をまとめて行けるシートの開発や、具体的なサービス内容や状況の確認が出来る方法を考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 30 日 (17 : 25 ~ 18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 豊田・坂岡・芦林・三好

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	8人	1人	9人

前回の改善計画

・漠然としたゴールではなく、今の思いを実現するための目標と期間を設定する。ゴールを明確に記載したプランを作成する。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護計画としては、具体的な目標になってきている。介護職員が実際にケアプラン作成に立ち合うことも少なく、ケアマネジャーや関係職種や家族との話し合いで決まっている事が多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	7	1	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	6	1	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1	8		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	4		9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日々のミーティングや記録で変化についての情報の共有も出来てきている。けあぷらんに沿っているかどうかは別に「～したい」に沿えるよう考えている。本人の思いを知りたいと思っている。直近のゴールは理解できた。
日々の関わり方の工夫を記録に残し共有できている。普段の関わりの中で「～したい」を聞くようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

「～したい」という思いが掴みにくい、把握できていない事もある。思いを確認できても実現が難しい。目標に沿った関わりが出来ていない。本人の思いを受け止められていない。知れば知る程、最終ゴールは理解できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

関係各種が情報共有しながらケアプランの作成が出来ようになったので、チーム内でミーティングや書面のノートだけでなく、意見をまとめるような話し合いの場や、書面上で意見が言える形でもよいので共通認識できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 30 日 (17:25~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 豊田・坂岡・芦林・三好

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	4人	4人	9人

前回の改善計画	・漠然とこれまでの暮らしの収集を行うのは難しいので、何を確認していくのかツールを準備する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ツールの作成が出来なかったが、個々では生活史や趣味や家族・友人の事を意識して話が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	6	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	7	1		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	3		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	6	2		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 状態変化を共有し、柔軟に対応している。個別に排泄用品や食事用品を選んでいる。ミーティングや記録で本人の状態の変化を共有している。看護師、医師に相談し解決できるようにしている。言葉で利用者の真意や本当の思いを話し合える機会が出来ている。出来る事は自分で行ってもらっている。写真や書類の改善でわかりやすくなった。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること アセスメント(情報収集)や日常会話も生活歴も把握できていない。発言してもそのまま進まないことがある。受け入れ時のアセスメントから更新が出来ていない。以前の暮らし方が10個言えない。何を望みどのように暮らしたいか理解できていない。失語のある方の代弁が本当にあっているのか確認まで出来ない。家族と本人との距離があり聞き取りで来てない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 現在のアセスメントシート(情報シート)の家系図の欄が小さいので大きくして出来るだけ確認し記載するように変更する。また、幼少期、児童期など大きな年代から、個人の情報を記入できるシートを作成する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 30 日 (17 : 25 ~ 18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 豊田・金・坂岡・芦林・三好

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2 人	4 人	3 人	人

前回の改善計画
・キーワードを決めて家族との関係性の確認、友人知人の把握を行ってみる。

前回の改善計画に対する取組み結果
キーワードを全体として決める事が出来なかったが、個人レベルで意識する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	5	2	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	4	1	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		1	6	2	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			7	2	

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会話の中から人間関係を知ろうとしている。本人と家族との関係性は、本人や家族との会話の中で考察したりスタッフ間で情報共有しながら把握できている。本人の生活スタイル、人間関係を理解するように努めている。家族にも介入して頂けるよう連絡をしている。家族との関係性の構築や再構築は出来ている。話しやすい環境づくりが出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用時の様子は把握できるが、それ以外の様子は分からない。地域との関係が継続できていると確認できている方が少ない。自宅での過ごし方を本人や家族から聞き取り出来ていない。担当者会議が上手くできていない。詳細を聞き取る機会を持ってない。本人に必要な地域資源を把握できていない。地域での本人の役割が理解できていない。家族間で立ち入れない事もある。地域資源については実施に必要となった場合しか活用できていない。自宅での記録が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
3. 日常生活の支援の改善計画のシートの中に地域での活動 (例: 婦人会活動・自治会活動・老人会など) 関わりがあった事も記入できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 30 日 (17 : 25 ~ 18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 豊田・金・坂岡・芦林・三好

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	3 人	6 人	9 人

前回の改善計画
・地域資源マップを地域包括支援センターから頂き、どのようなものがあるか確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域包括支援センターから地域資源マップを確認したが、制度化された事業所・病院などの記載のみであり、ボランティア団体などの資源は記載されていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	3	3	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		5	3	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	7		1	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	5	2	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
体調の変化、家族の状況に応じて対応できている。ゴミ出しサービスや、有償ボランティアなどの活用が
出来ている。ちょっとした事でも日々のミーティングで話し合えており、変化の対応につなげられている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護度や認知度が多様で個々の対応が十分でないことがある。気づきで終わっている事もある。地域資源
を活かせていない。地域資源マップを確認できていない。色々な角度から本人を見る事が出来ていない。
職員配置や定員の関係でサービスや送迎、入浴の調整が必要になってきている。変化に対して共有不足が
ある。地域資源を活用しての支援という事の理解が出来てない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
サービス提供についてはこれまで通り柔軟に対応していく。
利用者によってもう少し個別に関わりが必要な方に対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 12 日 (14 : 15～15 : 15)

6. 連携・協働

メンバー 長谷川 千田 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	2人	9人

前回の改善計画	・事業所(ケアセンター甲南)として、今後地域とどのように関わろうとしているのか情報の開示を行って行き、事業所として協力できることは行って行く
前回の改善計画に対する取組み結果	以前に比べて地域の人を招いたり交流したりする機会は増えているが、まだ地域の方に事業所の事を知られていない現状がある為、情報の開示が足りていない。知ってもらう必要があると感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	2	1	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			2	7	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		3	2	4	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	6		1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 会議という形式でないが、医師、看護師、薬剤師と FAX や電話にて情報共有が出来ている。担当会議や担当会議が開催できない場合でも情報共有できている。保育園、学童保育、学校の運動会、地域行事、事業所主催の夏祭りに参加できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 多職種との交わりやセンターでの意見が反映できていない。自治体等の会議、地域の関係機関や団体の活動の参加については管理者が参加している。他団体の情報が見えない。地域包括との連携が不十分な利用者もある。地域包括主催の会議には参加していない。地域の会議や活動に参加できていない。単体事業として参加できず、他部署に任せた部分が多い。自分自身が地域関係機関との接点がない(介護現場での仕事のため)。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の活動や会議、集まりに一部職員が参加しているが、そこで何を話し、どういったメンバーが集まっているのか参加していない職員は知らない。事業所の代表として参加し、意見交換や情報提供など行っているのであれば、他の職員も地域活動の情報を知る事が出来るように、簡潔に参加者や内容、配布資料などまとめて閲覧できるようにしていく。 ふれあい喫茶で地域の住民が事業所を訪れる機会があるが、参加がほとんど無い為、テーブルクロスや花を飾る等の喫茶の雰囲気づくり、地域への便りや、掲示板への張り紙等で情報を発信していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 12 日 (14 : 15 ~ 15 : 15)

7. 運営

メンバー 長谷川 千田 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	3人	6人	9人

前回の改善計画

- ・運営推進会議に介護職員も参加できるようにする。
- ・地域との関わり方を事業所(ケアセンター甲南)として考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議に介護職員は参加できずだが、年度末の会議に参加予定あり。
喫茶にて地域との関わりが出来ることが参加者が少ない。ケアセンター甲南にて話し合いの場があるか分からず、地域との関わり方について話し合う機会がなく周知されていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		4	1	4	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	2	3	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		1	3	5	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		1	4	4	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

出来ていない。利用者家族の意見があれば、ケアマネジャー中心に関わり改善対策をとっている。地域の会議に参加や学習会にも参加した。徘徊模擬訓練(高齢者見守り声掛け訓練)への企画、参加を包括支援センターと共に行っている。職場内研修ができている。利用者家族からの意見は改善すべき点は職員間で話し合っている。職員会議前に議題の抽出や会議中にも意見は出ている。地域の喫茶に関わった。地域住民や病院を中心に相談にのってほしいという依頼(利用に繋がらなくてもとりあえずケアセンターに行って相談してきたらと言われたという事)が増えた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

苦情や意見をミーティングで伝えるだけになっている。地域の方からの意見を聞く機会が無い。地域との協働。運営推進会議に参加が出来ていない。地域と協働した取り組みが出来てない。地域の喫茶の初期支援に関わったのみになっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

事業所の意見はいう事が出来ているが、反映出来ていない為、口頭だけでなく連絡ノートに記入する等での後の経過がわかるようにする。家族利用者等の意見については、担当者会議の場で確認し易いが集まって話合う機会が少ないので、事業所内の意見を集約する仕組みを作り担当者会議で意見交換できるようにする。会議で地域の情報を得た場合は、職員が閲覧できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 12 日 (14 : 15～15 : 15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 長谷川 千田 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	3人	3人	9人

前回の改善計画
・リスクマネジメント委員会を通じて、もう少し予防に焦点を当てた取り組みが出来ないか、検討してもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果
パソコンでのインシデント、事故報告は入力漏れがある為簡潔に記入できるようになったが、記入の仕方がわかりにくいとの意見あり正確な件数が上がっていない。ミーティングにて事故については予防策を話し合うことができていたが、それが記録に上がらずその場にはいない職員は事故について知らないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		4	4	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	2	3	9
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	1	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	2	2	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修に参加すると得るものがある。地域の会議(こぶしの会、事例検討会)に参加している。婦人科セミナーを開催した。ヒヤリハットについては様式を変更したため数は上がっている。市連絡会の研修や交流研修は参加している。職場内での研修が出来ている。AED、緊急対応マニュアルなど研修を実施している。研修に参加し知識が向上した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
リスクマネジメント(事故・ヒヤリハット)の検証が出来ていない。月1回の研修が出来ていない。外部研修への参加が偏っている。地域連絡会の参加できていない。過去2年と比べ、施設内研修が減っている。インシデントの記録が不十分。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
研修案内についての情報を収集、開示する事で、学びたい研修に参加しやすくする。地域連絡会の開催時期があいまいな為参加できていないことがあるので、一覧にして参加忘れを防ぐ。インシデント、事故報告を記入する時間が確保できない事があり、簡潔に記入できる様式の見直しを引き続き行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 12 日 (14 : 15～15 : 15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 長谷川 千田 嶋崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	1人	9人

前回の改善計画
・座学だけの研修でなく、自分たちで考えて、気づいていけるようにしていく。お互い注意をしよう。
前回の改善計画に対する取組み結果
業務に余裕がないと、気づきが出来てない事あり。お互いの注意は出来る時と、注意しにくい時があるが、注意する時は利用者の前でしないように配慮している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	3	1		9
②	虐待は行われていない	4	4	1		9
③	プライバシーが守られている	1	7		1	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	2	3	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	7		1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待は行っていない。不必要な施設や感知器を使用しないようにしている。ミーティングをスタッフルームで行っている。後見制度については数名案内した。問題になる前に話合っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
難聴利用者との会話がプライバシーの保護が出来てない。不適切な発言がみられることがあるがすぐにその場で注意できない事がある。心理的虐待なっているのではと感じる事がある。個人情報に関して配慮に欠けていると感じる事がある。引き継ぎを利用者のいる場所で行っている事がある。言葉での静止がある。成年後見制度を利用するケースが今は無い。自分では行っていないくても、相手がされたと思ったら虐待や身体拘束になるので気を付けたい。不適切な発言が記録上にもみられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者についての引き継ぎは、プライバシーを守る為に引き継ぎの場所、職員同士の距離感を考えて行う。職員の利用者への声掛けが余裕がないと感じられる場合は、他の職員に関わりを代わってもらうなど、余裕の持った声掛けが出来るようにする。家族との話し合いや相談、担当者会議等は、別のフロアや個室で話し合いをすることで個人情報を守る。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 神戸福生会	代表者	大和田 理紗	法人・ 事業所 の特徴	利用登録者のサービス内容は通いが少なく、訪問が多いのが特徴である。自宅で生活できるように何が課題でどうすれば解決出来て、安心して自宅で過ごせるようになるのかをマネジメントしている。また、医師との連携をきちんと行い、生活状況の報告、診療内容の確認をFAXや診察に立ち会い行っている。更に、機能向上にも力を入れており、理学療法士や作業療法士とも連携し、機能訓練だけでなく生活全般が向上するように連携をとっている。
事業所名	高齢者センター甲南 小規模多機能サービス	管理者	豊田 達範		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域 団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・ 結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	24時間体制で全員が参加する事は難しいが、自己評価だけでも任意で行って行く。また、引き続き家族アンケートも実施する。	夜勤専属とパート2名以外の職員は自己評価を行った。	次年度も自己評価だけでも日中勤務職員が出来るように工夫したい。	一つ一つ計画を立てていくが、実現可能な物で更に、優先順位を決めて計画を立てていく
B. 事業所の しつらえ・環境	地形的な物の改善は難しいが、地域の方々が困った時に相談ができる関係を作っていきたい。その為に、地域の方との会議や課題を共有していく。	臭いや音、夏場の湿度、冬場の加湿なども確認している。特にインフルエンザ対策で見栄えは悪いが、まずは加湿を行っている。	アットホームな雰囲気を作り、利用者様が落ち着く事が優先である。	③事業所内の雰囲気を出来るだけ家庭的で心地よいものにしていく。
C. 事業所と地域の かかわり	地域の会議などに参加し、事業所の内容を知ってもらう共に、地域の催し物に積極的に参加する。	拠点として地域の会議には出席したが小規模多機能としての参加は減った。	小規模多機能だけでなく拠点として地域と関わっていく事が大切である。	①小規模多機能単体ではなく、拠点を上げて、地域の交流を図っていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	引き続き地域との交流行事を行って行く。通いの場だけでなく自宅で過ごせるように地域の資源を確認していく。	地域資源を探したが介護保険施設や医療機関の情報が多く、ボランティアなどの情報は少なかった。	NPO法人やCS神戸に連絡すれば教えてもらえる。	②世代間交流と夏祭りを実施していく。また、利用者一人ひとりの関係性については、その地域でどのように関わってこられたのか(例、自治会長、PTA活動を行っていたなど)を確認できる方から取り組む。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	職員が参加できるようにする。また、他の運営推進会議にも職員を代理で派遣する代などし、良い点は取り入れていく。	他施設の運営推進会議に出席するにとどまっている。	地域の課題も挙がってきているので、今後話し合えることを期待する。	④他の施設の運営推進会議に職員が参加できる機会を設ける。自施設の会議においても交代で職員が参加できるようにする。
F. 事業所の 防災・災害対策	土砂災害を想定した、災害訓練を実施する。運営推進会議を同日に行えるか調整を行う。	実際に土砂災害避難勧告で上階に避難した。避難訓練についてはお知らせで終わっている。	避難場所としての機能や、一般の方の非常食について何かできないのか。	⑤土砂災害マニュアルについて、修正が必要であるか検討する。

